



自分のあいさつを見直そう（冬休み前集会の講話より）

夏休み前の本紙18号で、岩谷小と大内小の児童会、大内中の生徒会が連携して取り組む「A・B・C・D運動」について確認しました。冬休み期間も、この活動を意識して、有意義に過ごしてほしいと願っています。（裏面に再掲載しますので一読してください。）

今月、地域の方々に組織する大内中学校運営協議会の委員の方や、保護者の皆さんに、「学校評価」をしていただきました。それらの中で、あいさつについて、次のような記述がありましたので、紹介します。（協は学校運営協議会、保は保護者を示しています）

- 協：学校に行くと、たくさんの生徒が元気にあいさつをしてくれて気持ちいい。
- 協：校内で接する時に、素直に躊躇（ちゅうちょ）なくあいさつしてくれる。
- 保：朝夕、通学路でのあいさつがとても気持ちがよく、初めは声が小さい生徒も、何度かあいさつするうちに声が大きくなり、向こうから先にあいさつしてくれるようになった。
- 保：知らない人に対してあいさつするのは大人でも声が出ない事もあるが、努力しようとしている姿が見られる。
- 保：あいさつがしっかりできていてすごく良い。散歩をしていたら、大きなあいさつをしてくれてうれしかった。
- 保：朝など通学中にしっかりあいさつをしてくれる。
- 保：朝も夕方も、TPOに適したあいさつが自然に出来る生徒がいる。
- 保：学校に入ると生徒がみんなあいさつをしてくれる。とても気持ちがいいし、うれしくなる。

大変うれしい内容です。一方で、次のような記述も寄せられました…。

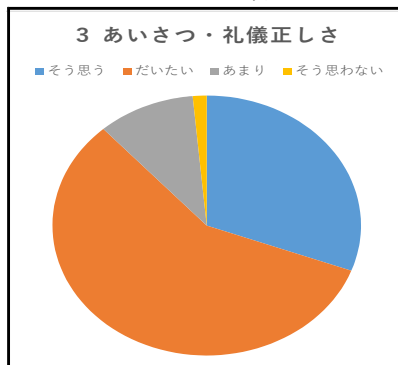
- 保：あいさつすることを恥ずかしいと思っているのかあまりしない。
- 保：見て見ぬふりであいさつをしない生徒がいるのは残念。
- 保：学校の坂を登っている時(下校時)、数人の生徒とすれ違ったが、あいさつすらしなかった。

大内中学校は、「あいさつ日本一を目指して」を学校教育目標として掲げていますが、他校との比較等による「日本一」の基準があるわけではなく、生徒の皆さんの姿で、保護者や地域の皆さんに示すものであると考えています。また、地域に活力を与えるあいさつでありたいと思います。

地域や保護者の方々は、生徒の皆さんに大きな期待を寄せています。将来、この大内地域を背負う存在として、こうあってほしいという願いの一つが「あいさつする」姿です。

校内で明るくあいさつができる大中生であることはもちろんですが、地域の方に積極的にあいさつできる大中生であってほしいと願います。

※右のグラフは、保護者による学校評価の中で「あいさつ・礼儀正しさの指導をしているか」の項目を示しています。暫定値で肯定的な回答が89%、否定的な回答が11%となりました。



大内中学校 2年

地域の良さ、実感!

私 は九月に、大内地区の菊地建設という会社で職場体験活動をしました。実際の現場では、機械の大きさや、危険な現場での作業に驚くとともに、仕事をしている方への尊敬の気持ちも湧いてきました。また、体験作業としてキャベツの種まきをしました。一つの会社の中で、建設現場の仕事や野菜栽培の仕事など、いろいろな種類の仕事を行っていることに驚きました。働いている方々は、私たちにとても優しく接してくださり、充実した二日間となりました。

今回の職場体験活動を通して、私の住む地域にこのような会社があることを知り、とても頼もしく感じました。あらためて地域の良さを実感すると同時に、将来は地域に貢献できる人になりたいと思いました。

保護者並びに地域の皆様、これからも成長途中の大中生に積極的なお声掛けをお願いします。今年は大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。

A…「あいさつ」

大内中学校は「あいさつ日本一」を目指している学校です。今年度の始業式では「あいさつの意味とは？なぜ大切なのか？」と題して、生徒に以下の内容の話をしました。

- ①出会った人が互いに心を開いて相手に迫っていくこと
- ②人と人との関係をつくっていく時に相手が今どのような状態であるか知るための大切なもの
- ③相手を対等で同じ地球に生きる仲間として認め信頼関係を築いていく大切な一瞬であること

B…「勉強」

勉強をしなければならぬ理由には、さまざまな答えがあります。見方や考え方を変えると、より多くの答えにたどり着きます。それほど勉強（学習、知識）は大切なのです。まとまった時間が使えますので、五感を使った体験も組み入れてみましょう。

C…「チャレンジ」

勉強に含まれるかもしれませんが、普段できないことに挑戦してみましょう。じっとしていても、何も変わりません。また「挑戦」＝「成功」ではありません。入学式でも「失敗は、自分を磨き、輝かせるもの」という言葉を紹介したように、うまくいかなかったり、つまづいたりする中にも、新たな気づきや学びがあるのです。

D…「ドリーム」

夢や目標をもつことはとてもよいことです。しかし、さまざまな体験などを通して、夢や目標は変わっていくことが多いようです。そうした過程の中で、自分の心の奥底にある「変わらないもの」を見つめてほしいと思います。

例えば、お菓子づくりが好きで、パティシエになるのが夢だとしましょう。菓子製造の仕事に就いたら、夢が叶ったこととなります。でも、その先は何を目標にしますか。ましてや、パティシエになれなかった人は、どうすればいいのでしょうか。

そこで「〇〇を□□にするパティシエ」と付け加えてみましょう。「〇〇を□□に」は、夢や目標の幅を広げてくれます。たとえパティシエになれなくても、その後の生き方を指し示す道しるべとなります。

夏休みこそ「あいさつ（A）日本一」への取組を忘れず、勉強（B）を含めた新しいことへ挑戦（C）し続けるとともに、家族の思いやりや愛を感じつつ、自分自身のよさや持ち味（D）を深掘りしてみましょう。「新しい自分」や「なりたい自分」の発見につながることを期待しています。



全校一斉計算テスト（11/22）満点者「おめでとうございます」

【1年生】〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん

【2年生】〇〇〇〇〇さん 〇〇〇〇〇さん（2年連続） 〇〇〇〇さん（2年連続）
〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん（2年連続） 〇〇〇〇〇さん（2年連続）
〇〇〇〇〇さん（2年連続） 〇〇〇〇〇さん

【3年生】〇〇〇〇さん（3年連続）